

# みんな仲間、集まれ「ウェルフェア塾」

社会福祉法人 ハルモニア

〒426-0066 静岡県藤枝市青葉町2丁目11-1

## 助成事業の概要

ウェルフェア塾は、施設機能を広く地域社会に提供し、障害を持つ人も持たない人も、幼児から高齢者までが共にふれあい、交流体験学習を通じて地域福祉を理解することを目的として実施した。また、地域で暮らす方々が、ウェルフェア塾を居場所として活用し、様々な人と関わることで充実した余暇を過ごすことをねらいとして取組んだ。福祉講座では、一般市民を対象にハルモニアの事業展開と発達障害への理解を深めるための講義を行い、地域の中で障害のある方が共にくらし、インクルージョンについての啓発を主な目的として実施した。

ウェルフェア塾事業を法人職員（新任職員、2年目職員）の内部研修として位置付けて実施した。実践プログラムのマネジメントを各担当者で行い、円滑なウェルフェア事業の運営に努めた。

### （1）「ウェルフェア塾」

#### 1. 実施日：

1回目：平成26年6月21日（土）

9:00～12:00

2回目：平成26年8月23日（土）

9:00～12:00

3回目：平成26年10月18日（土）

9:00～12:00

4回目：平成26年12月21日（土）

9:00～12:00

#### 2. 場所：

ハルモニア、ガゼルの森、藤枝市民体育館、藤枝市勤労青少年ホーム、藤枝市青島南公

民館、静岡県立藤枝特別支援学校、藤枝市内フットサル場

#### 3. 内容：

5コースに分かれて交流体験学習を実施した。

A：とどけ歌声楽しい居場所

講師：大畑裕子氏 音楽療法講師

B：サッカーボールでナイスキック

講師：津島三敏氏 NPO 蹴力理事長

北村敦子氏 藤枝市体育協会指導員

C：昔遊びで心のふれあい

講師：小林泰之氏 子ども生き生き遊び研究会

D：世界に一つしかないお菓子作り

講師：社会福祉法人ハルモニア職員

E：みんなで楽しむニュースポーツ

講師：静岡県障害者スポーツ指導者協議会職員

### （2）「福祉講座」

1. 実施日：平成26年3月11日（木）

18:00～20:00

2. 場所：小杉苑

住所：静岡県藤枝市青木2丁目35-30

3. 内容：「あなたが出番！誰もが住みやすい街になるために」

講師：ハルモニア理事長 大長昭子

総合事業庁補佐 仲安寛元

1部「誰もが住みやすい街になるために（社会福祉法人ハルモニアの実践を

通して)

2 部：「発達障害とは」発達障害の疑似体験

## 事業の成果

### (1) 「ウェルフェア塾」

#### 1. 参加者

ウェルフェア塾は、平成 22 年度から毎年実施し、平成 26 年度で 5 年目を迎えた。5 年間で、ハルモニア利用者、一般市民、ボランティアを含め、延べ 2,500 名以上の方々にご参加をいただいた。今年度は、延べ 599 名（障害者 227 名、一般 205 名、ボランティア 47 名、職員 120 名）が参加し、藤枝市をはじめとして、島田市、焼津市、牧之原市、静岡市、本川根町の 4 市 1 町から参加者を募ることができた。また、幼児から高齢者まで幅広い年齢層の方々に参加した。

#### 2. 障害者理解の促進

参加者同士のコミュニケーション促進をねらいとしたプログラムを実践してきたことで、参加者からは「障害者を身近に感じることができた」「緊張したが、少しずつ関わることができた」「障害者の話を聞いて力をもらいました」等、障害者に対して好意的な感想が多く聞かれた。ボランティアは、中学生、高校生を中心に延べ 47 名が参加した。各コースに分かれて運営に参加し、障害者と積極的に接する機会を設けてきた。「普段接する機会の少ない障害者、幼児、高齢者とふれあうことができてよかった」「最初は緊張したが、少しずつ関わり方がわかるようになった」等の感想が聞かれた。

### 3. 居場所の提供

参加した高齢者からは、「ウェルフェア塾は誰もが参加できる活動であり、高齢者にとっても充分楽しめる内容であった」「外に出ることが少なくなる中で、地域に住む人たちが集まる活動を提供してもらい感謝している」等の感想が聞かれ、高齢者の居場所としてウェルフェア塾が必要とされていることが伺えた。ハルモニア利用者を中心に、近隣市町在住の障害者が参加した。ウェルフェア塾は、ハルモニア利用者にとって土曜日の余暇活動の一つとして定着しており、前年度同様に多数が参加した。次年度もウェルフェア塾事業を継続して欲しいという意見が多数聞かれている。

### (2) 「福祉講座」

#### 1. 参加者（一般 21 名）

#### 2. 障害理解の促進

参加者からは、「障害について、改めて理解することができた」「これまでは、障害は自分に関係のないことと思ってきたが、自分もいつ何時障害者の立場になるかわからない。障害を身近な地域で受け止めていく姿勢が大切と感じた」との感想をいただいた。また、発達障害の疑似体験では、「障害者の感じている困難さを実感できた」等の感想を多数いただいた。

## 成果の広報、公表

「ウェルフェア塾だより」

ウェルフェア塾の各コーナーの様子や、次回の開催案内等を載せたおたよりを 5 回発行した。ウェルフェア塾参加者やハルモニア利用者等に配布した。

## 「ハルモニア広報誌」

1. ウェルフェア塾第 1 回目の実施報告をハルモニア広報誌第 15 号（平成 26 年 9 月発行）に掲載した。
2. ウェルフェア塾についてハルモニア広報誌第 15 号（平成 26 年 9 月発行）に掲載した。また、地域交流センターの取組みについて、第 16 号（平成 27 年 3 月発行）に掲載した。

ハルモニア広報誌は年 2 回（9 月、3 月）発行し、法人利用者、関係機関、ウェルフェア塾参加者、見学者等に 1,500 部ほど配布している。

## 今後の展開

みんな仲間、集まれ「ウェルフェア塾」事業は、平成 27 年度も継続して実施する予定である。今後とも、参加者一人ひとりがウェルフェア塾を通して知り合い、人と人とのふれあいを通して学び合う機会を提供していきたい。

今年度の本事業への参加人数は、ウェルフェア塾 599 名、福祉講座 21 名、合計 620 名であった。前年度と比較して 150 名以上の増加となり、一般参加者については、前年度より延べ 120 名以上増やすことができた。引き続き、本事業の広報啓発活動に力を入れ、新規参加者を呼び込むとともに、今年度参加してくださった方々に再度参加していただけるようにしていきたい。ボランティアの参加人数は、昨年度とほぼ変化は見られなかった。ボランティア参加者を募るために、近隣の中学校や高等学校に直接出向いて参加依頼をしてきたが思った効果は得られなかった。このため、次年度は学校への依頼の方法等について検討し進めていきたい。

本事業は、平成 22 年から今年で 5 年目を迎えた。次年度以降コース内容の再検討を行い、今後もより魅力的な取組みとなるよう努力していきたい。